

2018 年度 秋冬学期

授業改善アンケート調査結果

大阪大学人間科学部・大学院人間科学研究科

授業改善アンケート調査結果

1. 授業改善アンケートの概要

人間科学研究科では、2004年度より、毎学期末に授業に関して受講生に尋ねるアンケートを実施している。2014年度前期から授業内でマークシート用紙を配布・回収する方式に変更し、2016年度より、2011年に開設されたグローバル30人間科学コース（以下G30）でのアンケートも開始した。さらに今年度からは、講義科目以外の演習、実習、研究についてもKOAN上でのアンケートを開始した。実施期間は以下の通りである。

2017年度秋冬学期アンケート回答期間：2018年1月11日～2月9日

対象科目は、人間科学部・人間科学研究科で実施されている講義、および演習、実習、研究を含む全科目である。講義科目と講義以外の回収率は以下の通りである。なお、講義科目および講義以外の科目について、対象科目数・回答数と科目群ごとの内訳を記す。受講登録者数に対する回収率は、講義科目72.7%（2017年度秋冬学期72.8%）、講義以外の科目20.7%（2017年度秋冬学期21.0%）であった。

2018年度秋冬学期授業改善アンケート 講義科目
対象科目数・回答数

		対象 科目数	回答数
学部科目	共通科目	1	8
	行動系科目	12	583
	社会・人間系科目	12	483
	教育系科目	9	428
	共生系科目	13	427
大学院科目		32	234
G30科目		11	56
計		90	2219

回収数 2219 / 受講登録者数 3053 = 回収率 72.7%

講義科目以外(演習、実習、研究)

		対象 科目数	回答数
学部科目	共通科目	2	19
	行動系科目	23	55
	社会・人間系科目	16	23
	教育系科目	24	20
	共生系科目	16	5
大学院科目	共通科目	2	3
	行動系科目	18	15
	社会・人間系科目	25	22
	教育系科目	21	22
	共生系科目	17	20
G30 科目		0	0
計		164	204

回収数 196 / 受講登録者数 982 = 回収率 20.7%

- ※1 基礎科目は、行動・社会・教育・共生系科目に割り振られている。
 2 受講登録者数は、アンケートが実施された科目についての数値である。

回収結果は数値化して集計し、自由記述分も含めて教員にフィードバックされている。さらに2010年度後期より、授業担当教員からアンケート結果を踏まえて授業の振り返りのコメントの提出を求めており、次回の授業の改善に役立てられている。

2. 授業改善アンケートの結果

2017年度より、全科目をアンケート実施対象科目とし、講義科目については従来通りマークシート方式を採用、講義以外の科目（演習、実習、研究）については KOAN 上にて回答する方式を採用している。2018年度秋冬学期の授業改善アンケートの回収率は72.7%となり、2016年度後期の69.7%より3ポイント上昇している。また、KOAN上による回答率は学部18.8%、大学院25.2%、総合で20.7%であり、前年度秋冬学期の21.0%と大きくは変わらない。

主要な質問項目である、授業の満足度についての問10「この授業は全体として良い授業だったと思いますか？」（1～5の範囲で数値が高いほど高評価を意味する）については、4.07と昨年度秋冬学期とほぼ同値であり、学生の授業への満足度は例年通り高い（2017年度秋冬学期4.06）。学系別集計によると、G30が「非常に良かった」と回答した割合が26.8%（平均3.65）と前年度より13ポイントほど減少している点（2017年度秋冬学期4.26）が特徴として挙げられる。講義科目以外の満足度は、学部平均4.44、大学院平均4.56であった。

満足度に関する問10以外の質問項目の概要は、以下の通りである。

問1の「この授業へのあなたの出席率はどうでしたか？」に関しては、「80%以上出席」が82.6%（2017年度秋冬学期80.2%）と、昨年度よりも多くの学生が授業に参加していると答えている。問2の「この授業の予習・復習にあてた1週間あたりの平均時間はどれくらいですか？」に対して、「ほとんどなし」と答えたのは50.9%と前回の46.1%からやや悪化している。学系別にみても、共生学系をのぞくすべての学系が2～8ポイントほど増加している。ただし、2016年以前ほどの状態には戻っていないことから、改善傾向は保たれているといえる（2015年：前期53.7%／後期64.4%、2016年：前期41.8%／後期56.4%、2017年度：前期40.2%／後期46.1%、2018年度：春夏学期39.6%）。問4の「授業内容はよく理解できましたか？」の全体の平均値は3.67であり、例年とほぼ同じ数値を示している（2016年度：前期3.78／後期3.66、2017年度：春夏学期3.69／秋冬学期3.69、2018年度：春夏学期3.78）。

また、問3「授業の内容の難易度はどうでしたか？」に対しては「適切」であるとの回答が72.7%（2016年度：前期71.2%／後期65.6%、2017年度：春夏学期65.6%／秋冬学期70.5%、2018年度：春夏学期67.6%）であり、ここ3年間では最も数値が高く、学生のニーズと能力に適した授業運営が一層実施されているといえる。問6「授業はシラバスに沿って展開されましたか？」に関しては「そう思う」の割合は62.2%（2017年度秋冬学期60.6%）、問8の「授業方法および資料は、十分に工夫・準備されていましたか？」は3.99（2017年度秋冬学期3.99）、問9の「この授業で学問的知識が身についたと思いますか？」は3.90（2017年度秋冬学期3.87）と、いずれの項目にほぼ同数値となり、今回も適切な授業運営が実施されていると判断される。

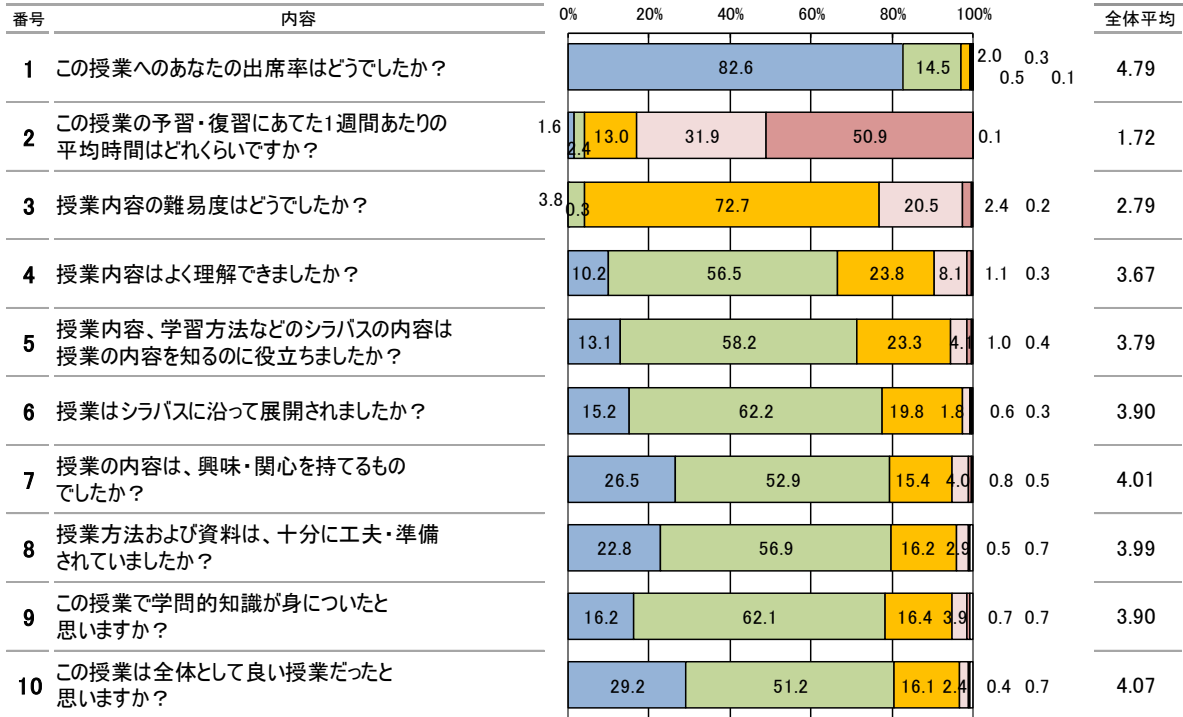
今年度春夏学期より KOAN 上で実施した講義以外の科目については、いぜんとして回答率の低さが問題である（2017年度：春夏学期22.2%／秋冬学期21.0%、2018年度：春夏学期21.1%／秋冬学期20.7%）。回答率の低さを改善すべく、2019年度春夏学期より、全科目をマークシート対象科目として実施することとなった。

以下より、2018年度秋冬学期の授業改善アンケート結果の詳細を示す。

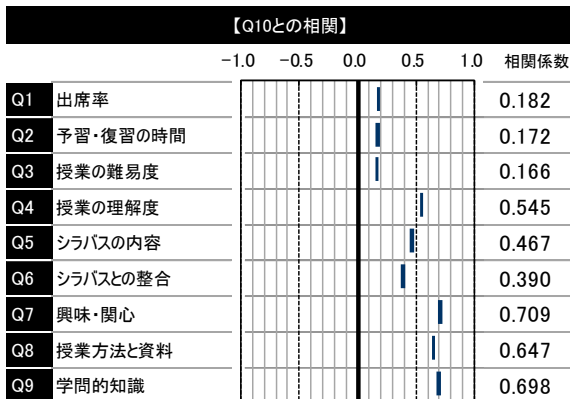
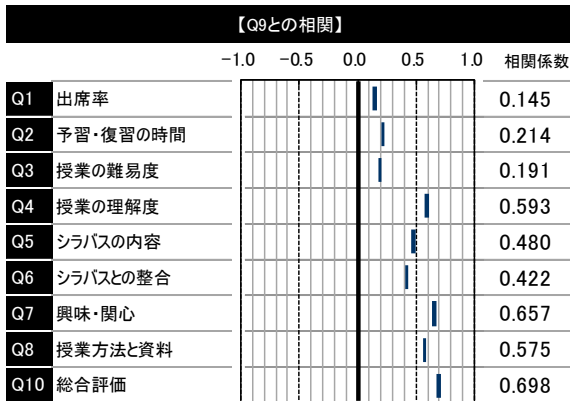
※学系別集計（p. 6）については以下のように集計している。

- ・自由回答項目については除かれ、選択式の設問について集計されている。
- ・学系別集計は、学部科目については各科目が属するカテゴリーごとに集計を行った。大学院科目については、回答数が少ない学系があるため一括して集計を行った。
- ・豊中キャンパスで開講される基礎科目は、行動・社会・教育・共生科目に割り振られている。
- ・学系の共通科目は、学系別集計に含めていない。
- ・各学系によって1科目あたりの受講者数などの状況が異なるため、科目群間でアンケート結果を単純に比較できない点に留意する必要がある。

全体集計	履修者数	3053
	回答数	2219
	回答率	72.7%

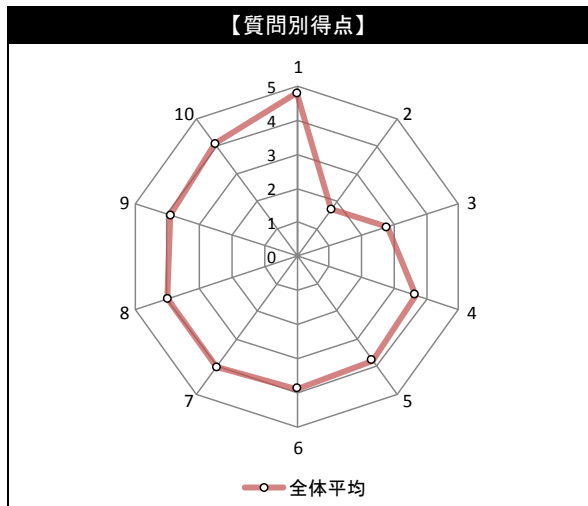


グラフ内数字は回答率(%)



回答凡例	5	4	3	2	1	-
配点	5	4	3	2	1	-
質問1	80%以上	60~80%	40~60%	20~40%	20%以下	
質問2	3時間以上	1.5時間~3時間	30分~1.5時間	30分未満	ほとんどなし	
質問3	難しすぎる	やや難しい	適切	やや易しい	易しすぎる	
質問4~9	強く思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	
質問10	非常に良かった	まあ良かった	普通	あまり良くなかった	かなり良くなかった	不明(無回答を含む)

相関係数は±1に近いほど関係が強く、0に近いほど弱いことを意味します。プラスは正の相関関係、マイナスは負の相関関係です。総合評価であるQ9とQ10はどの項目と関係が深いのか、授業の何を改善すればよいのかの参考値として下さい。相関係数の「-」は計算不能を示します。(例：回答者全員が同じ回答、回答データが1件のみなど)

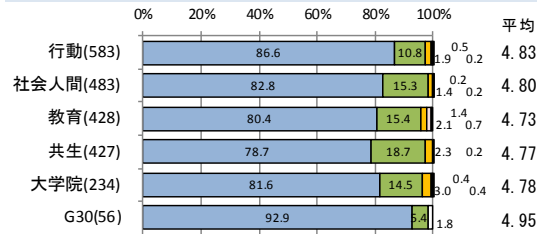


学系別集計

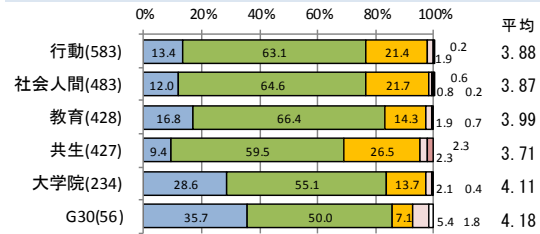
※グラフ内数字は回答率（％）

回答凡例	5	4	3	2	1	-
配点	5	4	3	2	1	-
質問1	80%以上	60~80%	40~60%	20~40%	20%以下	
質問2	3時間以上	1.5時間~3時間	30分~1.5時間	30分未満	ほとんどなし	
質問3	難しすぎる	やや難しい	適切	やや易しい	易しすぎる	不明(無回答を含む)
質問4~9	強く思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全く思わない	
質問10	非常に良かった	まあ良かった	普通	あまり良くなかった	かなり良くなかった	

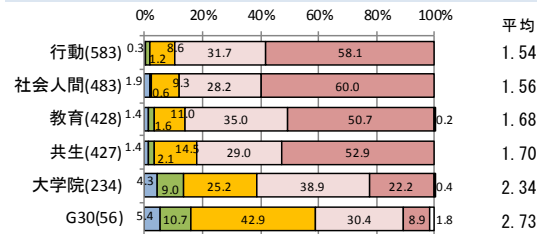
1. この授業へのあなたの出席率はどうでしたか？



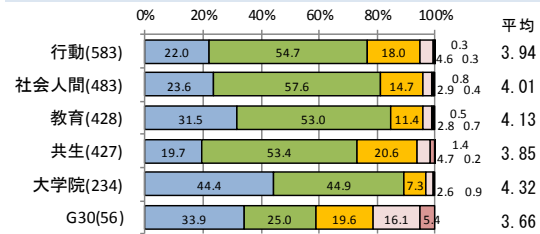
6. 授業はシラバスに沿って展開されましたか？



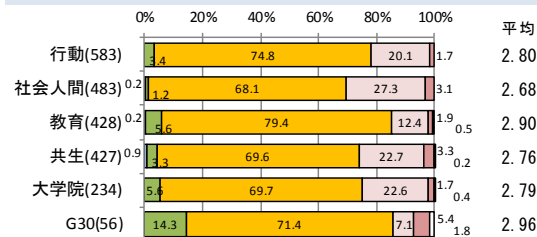
2. この授業の予習・復習にあてた1週あたりの平均時間はどれぐらいですか？



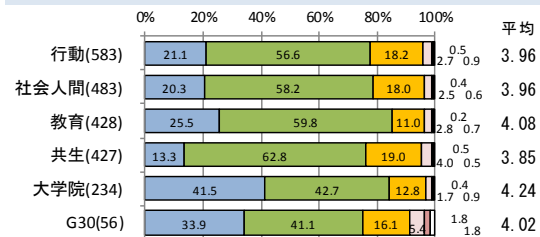
7. 授業の内容は、興味・関心を持てるものでしたか？



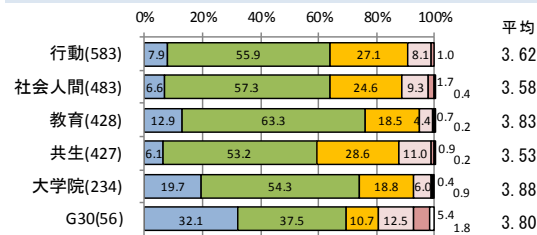
3. 授業内容の難易度はどうでしたか？



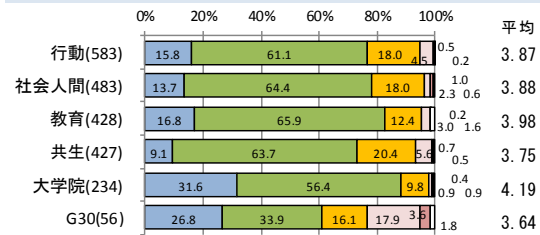
8. 授業方法および資料は、十分に工夫・準備されていましたか？



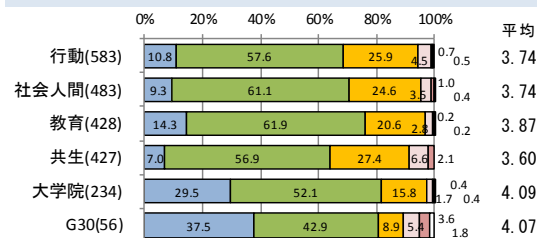
4. 授業内容はよく理解できましたか？



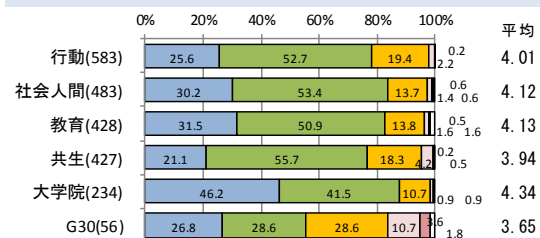
9. この授業で学問的知識が身についたと思いますか？



5. 授業内容、学習方法などのシラバスの内容は授業の内容を知るのに役立ちましたか？



10. この授業は全体として良い授業だったと思いますか？



講義科目以外(KOAN 実施分)

【学部】

1: この授業へのあなたの出席率はどうでしたか? How often did you attend this class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	20%以下 Below 20%.	◆	0 / 122	
(2)	20~40% 20-40%.	◆■	1 / 122	0.82
(3)	40~60% 40-60%.	◆■	1 / 122	0.82
(4)	60~80% 60-80%.	◆■■	7 / 122	5.74
(5)	80%以上 Over 80%.	◆■■■■	113 / 122	92.62

2: この授業の予習・復習にあてた1週あたりの平均時間はどれくらいですか? How much out-of-class study did you do on average per week for this class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	ほとんどなし None.	◆■■	18 / 122	14.75
(2)	30分未満 Less than 0.5 hour.	◆■■■	29 / 122	23.77
(3)	30分~1.5時間 0.5-1.5 hours.	◆■■■	23 / 122	18.85
(4)	1.5時間~3時間 1.5-3 hours.	◆■■■■	33 / 122	27.05
(5)	3時間以上 Over 3.0 hours.	◆■■■	19 / 122	15.57

3: 授業内容の難易度はどうでしたか? How do you find the level of the class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	難しすぎる Too difficult.	◆■	2 / 122	1.64
(2)	やや難しい Difficult.	◆■■■	23 / 122	18.85
(3)	適切 Appropriate.	◆■■■■	92 / 122	75.41
(4)	やや易しい Easy.	◆■	5 / 122	4.10
(5)	易しすぎる Too easy.	◆	0 / 122	

4: 授業内容はよく理解できましたか? Did you comprehend the contents of the class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	0 / 121	
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	2 / 121	1.65
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	12 / 121	9.92
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■	88 / 121	72.73
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■	19 / 121	15.70

5: 授業内容、学習方法などのシラバスの内容は授業の内容を知るのに役立ちましたか? Did the syllabus help you know what the class was about? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	0 / 122	
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	3 / 122	2.46
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	26 / 122	21.31
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■	60 / 122	49.18
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■	33 / 122	27.05

6: 授業はシラバスに沿って展開されましたか? Did the class follow the syllabus? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	0 / 121	
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	2 / 121	1.65
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	18 / 121	14.88
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■	59 / 121	48.76
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■	42 / 121	34.71

7: 授業の内容は、興味・関心を持てるものでしたか? Did the class stimulate your interest in the topic? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	0 / 122	
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	3 / 122	2.46
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	7 / 122	5.74
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■	55 / 122	45.08
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■	57 / 122	46.72

8: 授業方法および資料は、十分に工夫・準備されていましたか? Were the methods and the materials used in the class well prepared and designed? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	0 / 122	
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	3 / 122	2.46
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	19 / 122	15.57
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■	56 / 122	45.90
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■	44 / 122	36.07

9: この授業で学問的知識が身についたと思いますか? Overall did the class give you the academic knowledge? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	0 / 122	
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	2 / 122	1.64
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	13 / 122	10.66
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■	59 / 122	48.36
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■	48 / 122	39.34

10: この授業は全体として良い授業だったと思いますか? How would you evaluate this class overall? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	かなり良くなかった Very poor.	◆	0 / 122	
(2)	あまり良くなかった Poor.	◆■	1 / 122	0.82
(3)	普通 Fair.	◆■■■	10 / 122	8.20
(4)	まあ良かった Good.	◆■■■■	45 / 122	36.89
(5)	非常に良かった Very good.	◆■■■	66 / 122	54.10

【大学院】

1 : この授業へのあなたの出席率はどうか? How often did you attend this class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	20%以下 Below 20%.	◆	1 / 82	1.22
(2)	20~40% 20-40%.	◆	0 / 82	
(3)	40~60% 40-60%.	◆■	3 / 82	3.66
(4)	60~80% 60-80%.	◆■■■	10 / 82	12.20
(5)	80%以上 Over 80%.	◆■■■■■	68 / 82	82.93

2 : この授業の予習・復習にあてた1週あたりの平均時間はどれくらいですか? How much out-of-class study did you do on average per week for this class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	ほとんどなし None.	◆■	2 / 82	2.44
(2)	30分未満 Less than 0.5 hour.	◆■■■	9 / 82	10.98
(3)	30分~1.5時間 0.5-1.5 hours.	◆■■■■	20 / 82	24.39
(4)	1.5時間~3時間 1.5-3 hours.	◆■■■■■	20 / 82	24.39
(5)	3時間以上 Over 3.0 hours.	◆■■■■■	31 / 82	37.80

3 : 授業内容の難易度はどうか? How do you find the level of the class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	難しすぎる Too difficult.	◆	1 / 82	1.22
(2)	やや難しい Difficult.	◆■	10 / 82	12.20
(3)	適切 Appropriate.	◆■■■■■	68 / 82	82.93
(4)	やや易しい Easy.	◆■	3 / 82	3.66
(5)	易しすぎる Too easy.	◆	0 / 82	

4 : 授業内容はよく理解できましたか? Did you comprehend the contents of the class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	0 / 82	
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	2 / 82	2.44
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	9 / 82	10.98
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■■	39 / 82	47.56
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■■■	32 / 82	39.02

5 : 授業内容、学習方法などのシラバスの内容は授業の内容を知るのに役立ちましたか? Did the syllabus help you know what the class was about? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	1 / 82	1.22
(2)	そう思わない Not very well.	◆	0 / 82	
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	15 / 82	18.29
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■■	37 / 82	45.12
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■■■	29 / 82	35.37

6 : 授業はシラバスに沿って展開されましたか? Did the class follow the syllabus? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	1 / 82	1.22
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	1 / 82	1.22
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	15 / 82	18.29
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■■	36 / 82	43.90
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■■■	29 / 82	35.37

7 : 授業の内容は、興味・関心を持てるものでしたか? Did the class stimulate your interest in the topic? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	1 / 81	1.23
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	1 / 81	1.23
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	5 / 81	6.17
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■■	26 / 81	32.10
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■■■	48 / 81	59.26

8 : 授業方法および資料は、十分に工夫・準備されていましたか? Were the methods and the materials used in the class well prepared and designed? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	0 / 82	
(2)	そう思わない Not very well.	◆■	1 / 82	1.22
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	9 / 82	10.98
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■■	35 / 82	42.68
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■■■	37 / 82	45.12

9 : この授業で学問的知識が身についたと思いますか? Overall did the class give you the academic knowledge? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	全くそう思わない Not at all.	◆	0 / 81	
(2)	そう思わない Not very well.	◆	0 / 81	
(3)	どちらとも言えない Cannot judge.	◆■■■	5 / 81	6.17
(4)	そう思う Yes fairly.	◆■■■■■	33 / 81	40.74
(5)	強くそう思う Yes very much.	◆■■■■■	43 / 81	53.09

10 : この授業は全体として良い授業だったと思いますか? How would you evaluate this class overall? 【1つ選択してください。】

回答番号	回答	比較	人数 /総数	比率(%)
(1)	かなり良くなかった Very poor.	◆	0 / 82	
(2)	あまり良くなかった Poor.	◆■	1 / 82	1.22
(3)	普通 Fair.	◆■■■	6 / 82	7.32
(4)	まあ良かった Good.	◆■■■■■	21 / 82	25.61
(5)	非常に良かった Very good.	◆■■■■■	54 / 82	65.85

<満足度上位の科目>

講義科目を対象とするアンケートについて、問 10 より、満足度の結果を示す（有効回答数が 10 以上の科目のみ）。平均値が高いほど受講生の満足度が高いことを意味する。アンケート実施科目 91 科目のうち、有効回答数が 10 以上の科目は 62 科目であり、平均値 4.09 を上回ったのは 50 科目であった。

2018 年度秋冬学期講義科目 満足度上位の科目一覧

	科目名	有効回答数	問 10 平均値
1	フィールドワーク論Ⅱ	21	4.86
2	社会科・公民科教育法 B	15	4.75
3	共生の技法Ⅰ	11	4.70
4	ジェンダー論特講	22	4.67
5	教育工学Ⅰ	47	4.57
6	教育分野に関する理論と支援の展開	19	4.56
7	人類学理論特講	13	4.55
8	コミュニケーション社会学	98	4.54
9	現代社会学特講	27	4.50
10	基礎心理学	63	4.47

青野 正二	環境評価論, 人間行動学実験実習 III, 環境行動学特講 I
<p>コメント</p> <p>⇒今年度の講義科目（環境評価論・環境行動学特講 I）においては、全体的、平均的には昨年度の結果とほぼ同様であった。ただその中で、授業方法・資料の工夫に関する結果はこれまでより改善が見られた。授業自体の内容や構成には大きな変更はないものの、この点については、これまで自由記述欄に記載されていた受講生からの指摘事項に着目して、重点を置いて徐々に改良してきたのが功を奏したのかもしれない。また、今年度の自由記述欄においても、いくつかの指摘事項が見られるため、それらをどのような形で授業に反映させられるかを考えていきたい。</p>	

足立 浩平	多変量統計科学, 行動統計科学演習 II, 行動生態学実験実習 III, 行動統計科学特講 I, 行動統計科学特定演習 II, 行動統計科学特別演習 II, Multivariate Data Science
<p>コメント</p> <p>⇒Multivariate Data Science・多変量東経科学・行動統計科学特講 I について 数理系の学問は難解さを伴うため、すべてを把握するのは難しいです。そこで、「この部分はわからなくても構わない」という判断が大切で、大雑把にエッセンスを把握することに努めてください。</p> <p>行動統計科学の演習・特定研究・実験実習について 引き続き、オリジナルなアイデアを考えて、シナリオ構想力を鍛え、論文が書けるように努力してください。</p>	

渥美 公秀	共生行動論 I, 共生学実験実習 III, 共生行動論特定演習 II, 共生行動論特別演習 II
<p>コメント</p> <p>⇒【共生行動論 I】 誠に平均的な授業であったことは、安心もするが物足りない気もします。数回目から、もう少し受講生に積極的に参加してもらえ形式で講義できるという思いを持ちましたが、準備した題材が多すぎてなかなか取り組みませんでした。そこで、2019 年度からこの科目を二コマ続きにして、講義+(グループ)ワークという形式にしてみました。その日のテーマについて深く考えることができるようにとの狙いですが、果たして。試行錯誤しながらですが改善していきたいと思います。</p>	

稲場 圭信	共生学概論, 共生社会論 III, 共生学実験実習 III,
<p>コメント</p> <p>⇒【共生社会論 III】 おおむねアンケート結果の通りの講義だったと思います。 諸事情によりシラバスの通りに進まなかった部分が反省点で、次年度は改善します。 結果としては、全体として良い授業 4.35 だったので、よかったと思います。</p> <p>【共生学概論】 この講義は、共生学の教員 13 名が交代で講義するオムニバス形式のもので、それぞれの教員の研究室紹介のような形になった部分が多かったかと思います。来年度は、形式もふくめて改善したいと思います。</p>	

臼井 伸之介	安全行動学, 安全行動学演習Ⅱ, 人間行動学実験実習Ⅲ, 人間行動学実験実習Ⅰ, 安全行動学特定演習Ⅱ, 安全行動学特別演習Ⅱ, 安全行動学特講Ⅰ (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)
<p>コメント</p> <p>⇒科目「安全行動学・安全行動学特講Ⅰ (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)」</p> <p>安全行動学の履修者は67名、回答者53名(回収率79.1%)、安全行動学特講Ⅰは履修者11名、回答者9名(回収率81.8%)であった。</p> <p>本科目は学部と大学院の合併授業であった。ただし安全行動学特講Ⅰは今年度から、公認心理師のカリキュラム指定科目になったため、その関連する内容である「メンタルヘルスの理論と支援の実際」については、最後の3コマを佐々木淳先生と平井啓先生にご担当頂いた(次年度は合併授業の形態は取らず、それぞれ別の科目として開講する)。</p> <p>今年は臼井担当分については、授業内容を一部改変し、またリアクションペーパーとそのフィードバックの回数を増やすなど、それなりに改善の努力をしたにもかかわらず、設問10(全体評価)は4.0と昨年を若干下回った。その考えられる理由として、今年は履修者が多く、大講義室(51室)で行わざるを得なかったこと(授業が大講義室向けでない)、また公認心理師科目となったことで、臼井が担当する安全・リスクに関するパートと、公認心理師関連のパートの繋がりがやや悪かったことなどが考えられた。</p> <p>次年度は合併が解消され、履修者が減ると思われるので、適切な広さの講義室で実施するとともに、授業内容を一部見直し、講義のさらなる充実化を図りたい。</p>	

老松 克博	臨床心理学特講Ⅱ
<p>コメント</p> <p>⇒大学院の臨床心理学特講Ⅱは、難易度としては例年より易しかったようですが、理解しにくかったという方も少数ながらおられました。臨床心理学領域でもますます実証主義的な姿勢が優勢になるなか、この授業で扱ったような内容は、一部の受講生の皆さんにとってもはやなじみのないものかもしれません。しかし、だからこそ、心をmindとしてではなくpsycheとして扱うアプローチにもふれておいてほしいと思います。私としましては、これまで以上の時間をかけて詳しく説明や解説を行なったつもりです。</p> <p>予習復習にあてた時間がかなり少ないという結果でしたが、それはむしろ、臨床実践に特有な一回性をたいせつにして「今ここ」でのイメージネーションに満ちたコミットメントを行なう力を養うのにふさわしいことです。この授業で重視しているのは頭のなかの知識ではありません。その場で心の深層から生じてくるおのずからの反応のなかに真実を見出そうとする姿勢こそが肝要です。皆さんといっしょに、そのところで毎回、悪戦苦闘してみることができたのは、たいへんうれしいことでした。</p>	

岡部 美香	教育哲学, 教育人間学特定演習Ⅱ(B)
<p>コメント</p> <p>⇒大学院の演習に関しては、昨年とスタイルを変えたので、充実していたという評価をうけ、安心しました。今後もしばらくは、(内容は変えますが)同じスタイルで論文を読む力を伸ばせる授業を実施していきたいと思います。</p>	

金澤 忠博	行動生態学実験実習Ⅲ, 発達臨床心理学, 比較発達心理学演習Ⅱ, 比較発達行動学, 行動生態学実験実習Ⅰ, 比較発達心理学特講Ⅰ, 比較発達心理学特定演習Ⅱ
<p>コメント</p> <p>⇒毎回リアクションペーパーに感想や質問を書いてもらい、質問に対しては次の講義の最初に30分ほどかけて回答をした。「質問タイムが長すぎる」という意見と逆に「有意義であった」という感想が合ったが、双方向的なやりとりの時間で有り、受講生の皆さんの鋭い質問に刺激を受けることが多いので、これからも大切にしていきたい。毎回配布した資料については、改善すべき点があるので寄せられた意見を取り入れながらリファインしていきたい。講義は学習のきっかけに過ぎないので、それぞれが人間の本性の理解に向けて自ら学習を深めていって欲しい。</p>	

齊藤 弥生	比較福祉論 I, 福祉社会論演習 II, 社会環境学実験実習 III, 比較福祉論特講 I, 福祉社会論特定演習 II
<p>コメント</p> <p>⇒「比較福祉論 I」ではスウェーデン人研究者にスウェーデンの高齢者介護について、豊中市の職員の方々に豊中市の子ども政策についてのお話をうかがいました。「現場の方々からのお話がよかった」という声をいただき、嬉しい限りです。来年度もスウェーデン、ドイツからの研究者の講義、また行政の方からのお話など、福祉のお話を多面からとりあげていきます。</p> <p>実習、演習についてはアンケートの回答がありませんでしたが、来年度もキャンパスのなかにとどまらず、今起きている福祉課題のリアリティを紹介し、受講生の皆さんに関心を持ってもらえるように準備したいと思っています。</p> <p>全体的に事前勉強の時間が少ないようにみえるので、講義の終了時に次の回のテーマを紹介し、関連のウェブサイトや文献なども紹介するようにしたいと思います。</p>	

佐々木 淳	臨床心理学 I
<p>コメント</p> <p>⇒「臨床心理学 I」に対するコメントありがとうございました。多くの方から全体的に満足度の高い結果をいただき安心しています。公認心理師科目の一つであるため、より実践的な内容を扱うことも大切ですが、基礎的な考え方をしっかりと身に着けていただくことが、学部段階ではまずは重要だと考えています。多くのディスカッションを行うことでより理解の度合いが高まるように工夫しましたが、次は臨床に役に立つ知識についても充実させていきたいと思っています。</p>	

佐藤 眞一	臨床死生学・老年行動学, 臨床死生学・老年行動学演習 II, 人間行動学実験実習 III, 臨床死生学・老年行動学特講 II (A), 臨床死生学・老年行動学特定演習 II, 臨床死生学・老年行動学特別演習 II
<p>コメント</p> <p>⇒【臨床死生学・老年行動学・臨床死生学・老年行動学特講 II (A)】</p> <p>研究分野の専門 2 科目のうちの 1 科目である。3 名の教員によるオムニバス講義であったが、授業内容については事前に調整して内容が重ならないように工夫した。学生の出席率も高く、難易度も適切であり、「授業の内容に興味を持てたか」、「全体として良い授業だと思うか」のいずれも平均 4 点以上と高評価であった。しかし、例年通り予習復習が少ない。参考文献等を示しているし、毎回の授業コメントの提出も課しているのに、問題意識は持ってくれていると思う。授業で使用するスライドはすべて CLE にアップしているのに、予習復習を促すようにしたい。公認心理師試験の「福祉心理学」科目でもあるので、今後は、公認心理師として身に着けて欲しい内容も組み込む予定である。</p>	

澤村 信英	国際協力学 II, 共生学実験実習 III, 国際協力学特講 II, 国際協力学特別演習 II, International Development and Collaboration II
<p>コメント</p> <p>⇒交換留学生を含め、多様な関心および異なる知識レベルにある受講生のすべてを満足させる授業を実施するのは、言うまでもなく困難なことであった。特に、40 人以上のクラス規模でもあり、個々の受講生に対する目配りが十分できなかった。そのような状況にあったが、授業中の議論を促進し、受講生に発表の機会を与え、彼らの多様性をポジティブに反映させる授業づくりを試みた。次年度以降は、これまで一律に英語による授業を行ってきたが、大学院生向けあるいは学部生向けの授業の一方を日本語で行い、内容的にも差別化することにより、受講生の学習ニーズにより合わせるような工夫をしたい。</p>	

三宮 真智子	教育コミュニケーション学 I, 教育コミュニケーション学演習 II, 臨床教育学実験実習 III, 教育コミュニケーション学特講 I, 教育コミュニケーション学特定演習 II, 教育コミュニケーション学特別演習 II
<p>コメント</p> <p>⇒教育コミュニケーション学（同特講）I について</p> <p>アンケート結果は概ね良好であった。ただ、予習・復習時間が短い点（学部生において 30 分未満が目立つ）が気になる。ミニテストを時折実施していたが、さらに難しいテストや課題を設定するなどの工夫が必要と考えられる。なお、学部・大学院を合わせて、最終的に 66 名が受講していたが、受講態度が極めて良好であり、積極的な発言が目立っていた点は特筆に値する。</p>	

篠原 一光	応用認知心理学, 応用認知心理学演習Ⅱ, 人間行動学実験実習Ⅲ, 応用認知心理学特定演習Ⅱ, 応用認知心理学特別演習Ⅱ
<p>コメント</p> <p>⇒学部講義科目である「応用認知心理学」はおおむね好評だったようで、特段の改善要求も見られなかった。ただし予習復習にかかる時間は不足しているように見受けられた。今後は、予習を促すような具体的な課題を与えることを検討したい。</p>	

鈴木 和歌奈	応用人類学特講
<p>コメント</p> <p>⇒後期授業アンケートでは、私の授業の履修人数が8人のうち回答者は1人のみだったが、その1人はほとんどの項目で、高評価をつけてくれた。全ての学生が同じ評価かはわからないが、少なくとも強い関心を持って授業を受けてくれていた学生がいたことは、とてもよかったと思う。この授業は、私が教員生活初めて受け持った授業であったため、かなり手探りで進めてきた。</p> <p>主に修士の学生向けだったが、学部生や他分野の学生、博士課程の学生など多様なレベルの学生が参加することとなった。実習がメインの授業であり、課題のワークをさせて、その結果をディスカッションさせるという授業形式をとった。いきなりディスカッションさせるとあまり意見が出てこなかったため、隣の学生同士で作業結果について少し話をさせて、全体のディスカッションに移ることで、学生が話しやすい雰囲気を作った。学生同士が学び合える設計を心がけたためか、学部生や修士の学生に対し、博士課程の学生がアドバイスしたりする場面が何回か見られた。</p> <p>反省点については、講義の際、時々難しい話や高度な分析をしてしまい、たまに学生が付いてきていない場面があった。また、学生の理解や、授業の流れを考慮し、シラバスに書いてある内容を時折変更することがしばしばあり、それは学生を混乱させたかもしれない。次回、同様の授業をする際は、難しい論点に付いてはスローダウンして、何回か話すなど、理解しやすい形を心がけたい。</p>	

園山 大祐	教育制度学特講
<p>コメント</p> <p>⇒学系別集計において、教育学系は、質問項目5と6におけるシラバスの内容と若干ずれているという評価である。それでも質問項目7では興味・関心を持った学生が全体のなかで最も高い数値となっている。授業の評価（質問10）も一番高い結果となっている。来年度は、シラバスの説明をオリエンテーションで行い、内容に満足してもらええる授業作り、工夫に取り組みたい。</p>	

千葉 泉	共生の技法Ⅰ, 共生社会論演習Ⅱ
<p>コメント</p> <p>⇒来年度は、受講生との間により円滑なコミュニケーションを図り、授業に関する意見や希望、アイデアを積極的に把握しつつ、これを柔軟にフィードバックすることで、受講生の必要性により一層応えた授業の構築に努めたいと思います。</p>	

辻 大介	コミュニケーション社会学, 社会環境学実験実習Ⅲ, コミュニケーション社会学特定演習Ⅱ, コミュニケーション社会学特別演習Ⅱ
<p>コメント</p> <p>⇒例年どおり授業内容への評価自体は悪くないのですが、学部講義の予習時間が人科平均よりやや少ないので、この点に改善の余地を感じています</p>	

中川 敏	人類学理論, 人類学理論特講
<p>コメント</p> <p>⇒毎回、自分の授業がどのように受け取られているかが分かり、次回の授業への参考になりました。</p>	

西森 年寿	教育工学 I, 教育工学演習 II, 教育学概論, 臨床教育学実験実習 III, 臨床教育学実験実習 I, 教育工学特講 I, 教育工学特定演習 II, 教育工学特別演習 II
<p>コメント</p> <p>⇒「教育学概論」については例年と同等の評価だと受け取りました。ただし、今年度は連絡や機材準備の不備があり、学生の皆さんには迷惑をかけたところもあったと思います。次年度以降注意するようにします。また、次年度より開講する対象の学生が変わるので、授業の雰囲気などに変化があるかもしれません。評価データへの影響などにも注意していきたいと思います。</p> <p>「教育工学 I」「教育工学特講 I」については、多くの方には肯定的に受け止めてもらえたようで、がんばったかいがあったかなと思います。しかし、準備不足で反省する点も多々あったので、そのあたり、次年度に少しは改善したいと思っています。この授業も次年度以降、時間割の変化等で履修学生の構成の変化が予想されるので、進行や準備等に気をつけたいと思います。</p> <p>演習などについては、今回は、手厳しい指摘はなかったのですが、興味関心の項目で注意が必要のようでした。その点、アイデアを出していきたいと思います。</p>	

入戸野 宏	基礎心理学演習 II, 行動学概論 (心理学概論)
<p>コメント</p> <p>⇒1年生向けの必修科目「行動学概論」の世話教員を昨年度に引き続いて担当した。「全体として良い授業だったと思うか」というアンケートの問いに対して、回答者(120名, 回答率86.3%)のすべてが「普通」以上の評価であり、「あまり良くなかった」「かなり良くなかった」と回答したものは皆無だった。総合評価点は、昨年度4.05(全体平均4.06)から今年度4.16(全体平均4.07)へと向上し、授業改善の効果が認められた。</p>	

Robert Scott North	文化社会学特定演習 II (B), 文化社会学特別演習 II (B), Seminar in International Labor Theory
<p>コメント</p> <p>⇒Comment on Labor Theory 2018: Evaluations from this class have been uniformly strong over the years that I have taught it. I am gratified by the response and I have used the feedback from students to improve the course. The major revisions have centered on reducing the volume of theoretical readings in order to get to the more interesting and important for the students cases in the later weeks of the course.</p> <p>I note that the students spend a fairly small amount of time on the class readings each week. Although it is above the departmental average, I hope students will increase their engagement with the classical texts at the start of the semester. There is no substitute for reading these works carefully if one is to grasp the brilliance and breadth of the early social thinkers and their continuing relevance for social life today.</p>	

野坂 祐子	教育心理学演習 II, 臨床教育学実験実習 III, 教育分野に関する理論と支援の展開,
<p>コメント</p> <p>⇒関心をもって受講された方が多く、よかったです。系によって、若干、理解度(難易度)に差がみられたのは、公認心理師関連科目であることから、心理臨床に関する実践が含まれていたためかもしれません。「予習・復習」は例年通り、実行している方が少なかったですが、大学院の授業なので教員が指示するものではないと考えています。自主的な取り組みに期待します。</p>	

野村 晴夫	臨床心理学演習 II, 臨床心理面接特講 II
<p>コメント</p> <p>⇒【臨床心理面接特講 II】 概ね及第点のようですが、予習復習の活用について検討させていただきます。</p>	

檜垣 立哉	共生の人間学Ⅱ, 共生学実験実習Ⅲ, 現代思想特別演習Ⅱ(A), 共生の人間学特講Ⅱ, 共生の人間学特定演習Ⅱ-a, 共生の人間学特別演習Ⅱ-a
コメント ⇒シラバス通りとはなかなかいかなかったものの、概ね好評であったようで今後もなるべくインタラクティブな相互性を確保するように工夫して授業を進めていきたいとおもう。	
平井 啓	心の健康教育に関する理論と実践
コメント ⇒本年度より開講した「心の健康教育の理論と実践」では、心理教育プログラムの企画やコンテンツ作成を行う上でのフレームワークを提示し、それを使ったグループなどを行っている。来年度以降は、より効果的グループワークが行えるような時間配分や教材提供を行っていきたい。	
福岡 まどか	文化人類学演習Ⅱ, 人類学特定演習Ⅲ, 人類学特別演習Ⅲ
コメント ⇒文化人類学演習の内容の難易度が難しすぎるとのご意見がありました。今後は、この結果を考慮し、より読みやすい英語文献資料の選定も考慮し、日本語文献も取り入れながら、ゼミを行っていきたくと考えております。文献講読のため、授業のやり方があまり工夫されていなかったと思いますので、今後は、映像資料の視聴や講義なども交えて、行っていきたく考えます。	
藤岡 淳子	教育心理学Ⅰ, 臨床教育学実験実習Ⅰ, 教育心理学特定演習Ⅱ, 教育心理学特別演習Ⅱ
コメント ⇒例年あまり変わらず、確認だけになってきている印象がある。	
藤川 信夫	教育人間学演習Ⅱ, 臨床教育学実験実習Ⅰ, 共生の人間学演習Ⅱ, 臨床教育学実験実習Ⅲ, 教育思想史特講, 教育人間学特定演習Ⅱ(A), 共生の人間学特定演習Ⅱ-b
コメント ⇒今回のアンケート対象となった授業では、受講者数・回答者数、いずれも少人数であったことから、判断は困難だが、引き続き質の向上に努めていきたい。	
前馬 優策	インターンシップ実習A
コメント ⇒インターンシップ実習Aの受講者のうち2名だけが回答してくれた。「授業は工夫されていたか」との問いに2人とも「強くそう思う」であったのが良かった。その一方で、「興味・関心を持てるものだったか」の問いは、平均が3.5となっていた。色々な仕掛けをしたことを評価してもらったものの、受講者にどの程度響いたかという点、やや疑問の残る結果となった。実習科目ではあるが、学生のニーズ等を的確に把握したうえで授業を進めていくことが求められる。	
牟田 和恵	ジェンダー論, 文化社会学演習Ⅱ, ジェンダー論特講,
コメント ⇒学生満足度は比較的高い結果が得られたが、今後も学生の授業参加意欲を高められるよう努めたい。	
村上 靖彦	現代思想論, 現代思想論特講, 現代思想特定演習Ⅱ(B), 現代思想特別演習Ⅱ(B), Applied Phenomenology
コメント ⇒現代思想論についてはおおむねねらいどおりの授業ができたという評価をいただけたようでよかったです。来年度に向けて、よりアクティブ・ラーニングの要素をとり入れた授業を行い、授業の目的を実現できるようにしたいと思います。	

森川 和則	基礎心理学, 人間行動学実験実習Ⅲ, 基礎心理学特講Ⅱ, 基礎心理学特定演習Ⅱ, 基礎心理学特別演習Ⅱ
<p>コメント</p> <p>⇒学部授業としては 2018 年度後期の授業改善アンケートのすべての質問（1～10）において人間科学部・研究科の全体平均を上回っているので、好評であったと言えます。特に質問 10（この授業は全体として良い授業だったと思いますか？）は 4.47 であり、全体平均 4.07 を大きく上回っていたことは高く評価できると思います。学生からのコメントとしては「とてもおもしろかった」「楽しかったです」という意見でした。他方、「人数に対して教室が狭すぎる」という意見もありました。来年度からは学部・大学院の合併授業を解消して学部だけの授業にしますので、人数問題はやや緩和されると思います。</p>	

森田 邦久	認知システム論, 現代人間学演習Ⅱ, 科学哲学特定演習Ⅱ, 認知システム論特講, 科学哲学特別演習Ⅱ
<p>コメント</p> <p>⇒「認知システム論」および「認知システム論特講」について。興味深かったものの難解なところもあったという意見が多かったので、よりトピックを絞り、具体例などを用いて噛み砕いて説明をしたい。また、今回、たまたま最後の数回（プロジェクターの更新の影響？）プロジェクターをうまく使えないことがあり、ホワイトボードを用いたのだが、要所要所でホワイトボードを用いたほうが進行が遅くなるためにむしろ受講生に考える時間ができてよかったかもしれない。それゆえホワイトボードを並行して用いる方法も検討したい。</p>	

山田 一憲	比較行動学, 比較行動学演習Ⅱ, 比較行動学特定演習Ⅱ, 比較行動学特別演習Ⅱ
<p>コメント</p> <p>⇒【比較行動学】</p> <p>「この授業で学問的知識が身についたと思いますか?」、「この授業は全体として良い授業だったと思いますか?」の項目が、例年程度に近い値でしたので、最低限の役目は果たせたと思っています。</p>	